

- ★6月上旬までに溝掘りを確実に実施し、中干しの効果を高めましょう。
- ★出穂期から20日間の湛水管理に備え、的確な中干しにより田面を固めましょう。

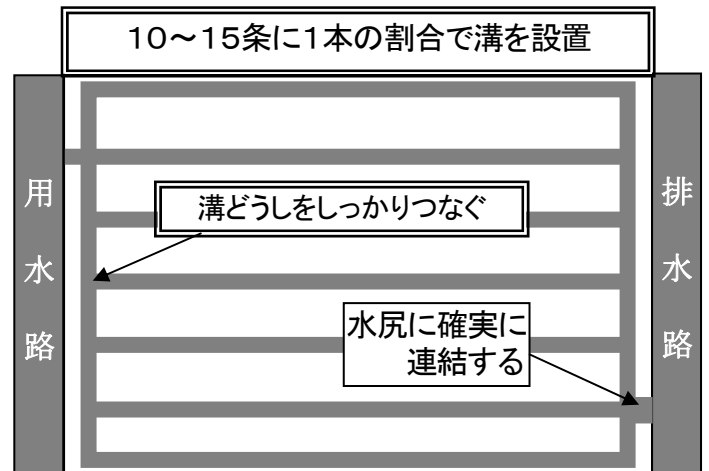
1. 溝掘り

6月上旬までに溝掘りを行い、中干しの準備をしましょう

中干しや、その後の間断かん水を効果的に行うため、6月上旬までに必ず溝掘りを行いましょう。

<溝掘りのポイント>

- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせる。
- ・溝の間隔は、3～5m（10～15条に1本）が目安。
- ・水口と溝、水尻を確実に連結する。
- ・水の切れにくいほ場では、設置本数を増やす。



溝掘り



中干し

充実した茎や根の確保

2. 中干し

田植えの1ヶ月後を目安に中干しを始め、確実に田面を固めましょう

6月に入ると、分けつが急激に増加するので、**田植えの1ヶ月後頃を目安**に、遅れず中干しを開始しましょう。また、出穂後20日間の湛水管理に備え、確実に田面を固めましょう。

①田植日ごとの中干し開始時期の目安

田植日	中干し開始時期(目安)
5月10日	6月10日頃
5月15日	6月14日頃
5月20日	6月18日頃
5月25日	6月20日頃

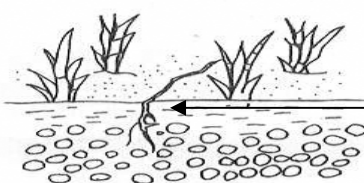
○中干しの効果

- ・無効分けつの抑制
- ・土中への酸素供給と根の活力向上
- ・**地耐力の向上**

②中干しの程度

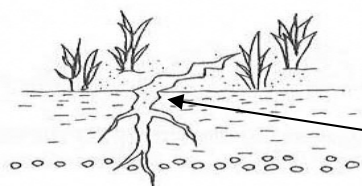
・水はけの良いほ場

→ 長靴が沈まない程度の中干し
: 3～5日間間隔で田干しを行う



・水はけの悪いほ場や粘土質ほ場

→ やや強めの中干し
: 5～7日間程度の田干しを2～3回行う



⇒ 中干しが終了したら間断かん水を行いましょう

3. 中間追肥

エスアイ加里特号の施用で、丈夫な稲体に仕上げましょう

肥料名	施用時期	10a当たり施用量
エスアイ加里特号	6月中～下旬	15kg

○珪酸の施用効果

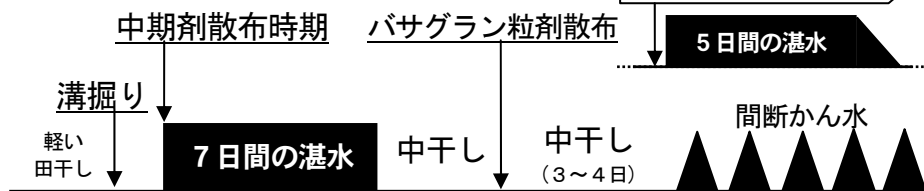
- ・根の活力を高める
- ・フェーン時に水分の蒸散を防ぐ
- ・茎葉を丈夫にし、倒伏を防ぐ
- ・受光態勢を良くし、登熟を高める

4. 中・後期除草剤の散布

○中・後期剤散布例と水管理のイメージ

アクシズMX1キロ粒剤は
収穫45日前まで散布可能

溝掘り時に残草が見られた場合は、
中干し前に中期剤を散布しましょう



<除草剤散布のポイント>

- ・溝掘り時に軽く田干しを行ってから、たっぷりと水を入れ、散布する。
- ・除草剤散布後7日間は止水とし、落水やかけ流しをしない。
(バサグラン粒剤の場合は、中干し以降で晴天日が続くことを確認し、浅水～落水状態で散布して3～4日間は入水しない。)
- ・下葉の黄化が見られる場合は、軽く田干しを行ってから散布する。

○中期除草剤の散布

残った雑草	薬剤名	使用時期	散布量	使用上の注意
ノビエ 広葉雑草	アクシズMX 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ4.0葉期 (但し収穫45日前まで)	1kg/10a	・湛水状態で散布。 ・散布後5日間は湛水状態を保つ。
ノビエ 広葉雑草 アオドロ・藻類による 表層剥離	マメットSM 1キロ粒剤	移植後20～30日 ノビエ3.0葉期まで	1kg/10a	・湛水状態で散布。 ・ 稲5葉期 以前の使用は避ける。 ・15℃以下の極端な低温や、 30℃以上の高温 が予想される場合は、 使用しない。

○中干し後に雑草が多く残った場合

残った雑草	薬剤名	使用時期	散布量	使用上の注意
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	移植後7日～ ノビエ4.0葉期 (但し収穫30日前まで)	1.0kg/10a	・ノビエにしか効果がない。 ・残効性がないので注意する。 ・やや深めの湛水状態(水深5cm程度)で散布する。 ・散布後5日間は湛水状態を保つ。
		移植後25日～ ノビエ5.0葉期 (但し収穫30日前まで)	1.5kg/10a	
広葉雑草 ホタルイ	バサグラン 粒剤	移植後15～50日 (但し収穫60日前まで)	3～4kg/10a	・晴天が続くことを確認して、 浅水～落水状態で散布 。3～4日間は入水・落水をしない。 ・ 上手な人はヒタヒタ水のところに散布します ・散布後の降雨によって、薬剤が流出しないように水尻を止める。

5. 農作業安全 (畦畔草刈り)

畦畔草刈りは、

- ・作業前の危険箇所の確認
- ・作業中の安全確保、足元の確認
- ・作業中の熱中症対策

が絶対に必要です。



軽装作業はケガと熱中症のもと
⇒防護メガネや手袋、前掛け、
安全帽等を身に着けましょう

刈刃を目の高さまで上げる
のは大変危険です



食の安全は生産履歴とGAPの実践から

「安全・安心・高品質山田米」の生産のため、全ての作業内容を記帳しましょう。